留学生通信

ぴったんこ韓国 ～韓国のキャンパスライフ～

Campuslife in KOREA

鄭　英美（ツォン　ヨンミ）
2001年釜慶大学機械工学部機械システム学科卒業
■主として行っている業務・研究
・ロボットのコンプライアンス制御の研究
・ハプティックインタフェースの研究
■通学先
横浜国立大学大学院　工学府　システム統合工学専攻　藪田研究室　博士課程1年
（〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-5／E-mail：youngmi@yabsu.jks.ynu.ac.jp）

私は韓国からの留学生として現在横浜国立大学の博士課程に在籍しています．日本と韓国は似ている所も違う所もたくさんあります．その中で韓国の大学生活について簡単に紹介させていただきます．まず韓国の大学の生活について紹介する前に，大学に入るために経験しなければならない入試地獄について話したいと思います．

1 入試

日本のニュースで韓国の大学入学試験当日の現況を報道したのを目にしたことがあります．大学入学試験を受けるため警察の助けを借りて受験場へ向かう受験生をとったもので，その光景が日本人たちにはかなりおかしいし不思議な様子だったようで，私はそのようなことがしばしばあるのかと聞かれました．そのような様子は，大学受験をする生徒が受ける修学能力試験がある日にはよく目にする光景です．私が修学能力試験を受ける時も警察の助けをかりて受験場まで来た学生が二～三人はいました．．．＾＾；

修学能力試験がある日には受験場のあちこちで面白い光景が多く発生します（**図1**）．全国的に受ける大学試験なので全国民の支持と激励を受けるといっても過言ではありません．混んでいる道から受験生を遅れずに受験場に到着させるため，受験生を乗らせてサイレンを鳴らしながら走る警察車やバイクなどのみならず，そのような受験生を見た人なら大部分がその受験生を受験場まで早く行けるように乗せてくれる光景をよく目撃します．それに，受験場の門の前には朝早く来て激励文句を持って次々に来る先輩たちのため熱く応援してくれる後輩たちと会うことができます．また，寒さにも負けず早くから来て暖かいコーヒーやチョコレートや飴(あめ)を握らせて幸運を祈ってくれる何人かのお母さんたちにも会うことができます．

このような行動の理由はたぶん受験生が感じるストレスとその苦労を皆が共有するためではないかと思います．高校から大学に入るための入試戦争は日本と似ている面が多いかも知れません．アメリカやヨーロッパの大学入学制度とは違い高校時代の成績と大学入学時受ける試験の結果が大学への当落を左右する入学制度のため，特に高校３年生は勉強によるストレスを非常に多く感じます．

それは“入試地獄”とか“高３

図1　入試当日の様子

病”という語句からもわかります．入試地獄はよくわかると思いますが，高３病というのは入試に対するストレスのせいで何人かの生徒が精神的，身体的に異常症状を表すことで，高校３年生が過ぎると何にもなかったようにすぐ治ることからこう呼ばれています．

2 大学生活

このような圧迫とストレスから解放されて，多くの学生たちは大学に入学したとたんにあふれる自由を謳歌（おうか）します．多くの友だちが１年生の時にはクラブ活動，学科会合，同門会などの付随的な活動に精神を費やして暮らします．新しい人たちに出会い，先輩たちと親睦を深め，時には恋愛をし，夢に描いた大学生活を楽しむのです（**図２**）．日本では幼い時から恋愛が自由で活発ですが，韓国の学生たちはそうはできません．ふつう中高校は男子中学校，男子高等学校，女子中学校，女子高等学校で男女が別々に分けられているので誰かと付き合える機会は極めて少ないのです．そのため，大学に入って初めて恋愛をするということが多いのです．今は男女共学に代わっている学校も増えていてこのような傾向も少しは変わってきています．

図２　大学構内にて友人と

図３　大学小劇場

3 大学施設

このように大学というのは学びの場であり，同時に自由と浪漫を代表する場所になっています．義務というよりは自由意志通りに学びたいことを習い，やりたいことをやる場所となっています．

韓国では多くの大学が学生のための空間を備えています．大学校内に広い芝生とか湖がある所もあり，そこで自由に話をしたり御飯をたべたりする学生たちをよく見かけます．また，音楽鑑賞室と小劇場のような空間が用意されているところもあります．静かな雰囲気にソファーが並んで置かれている音楽鑑賞室では，自分で曲を申し込みその曲を鑑賞することが可能です．大学小劇場にはクラブとか個人が時間を申し込み，自由に音楽会とかロックコンサートを開いたり，演劇を公演することができ，誰でもそれを観覧することができます（**図３**）．そのほかにも女子学生のための女子学生休憩室が設置されていて，学校内に保健所や銀行などもあります．保健所では，運動している時に怪我をした学生たちとか風邪を引いた学生たちに無料で薬を処方してくれます．

4 就業準備

このような環境下で，２年生になった時から学生たちの大部分は勉強に精を出し始めます．男子生徒の大部分は１年生を終えてから軍隊に入り，２～３年後にまた２年生で復学します．その時から１年生時持ち越しておいた履修単位や成績に配慮しつつ勉強に取り組むのです．このように２～３年生を送ったのち，４年生の時から就業の用意を始めます．日本と違い，韓国では修士過程に進学を望む学生は多くありません．大部分が大学４年で卒業して就業し，20% くらいしか修士過程に進学しないのです．だから卒業準備と就業同時を同時に用意しなければならない４年生の時がいちばん忙しい時期となります．特に，軍隊に行ってきた男子学生たちは歳を考え，早く社会に出ることを望みます．韓国の男子生徒が日本の男子生徒に対しうらやましく思うことの一つが若い歳です．修士を卒業しても大学４年を卒業した自身たちより歳が若いということに，うらやましいと感じるのです．

このように韓国と日本の大学生活について簡単に比較をしましたが，韓国と日本には似た面も多い反面異なる面もたくさんあります．授業方式と研究においては似た面が多いので，本文では簡単に大学生活の環境的な違いについて言及しました．本文が両国の人々をもっと近づける機会になり，役に立つことを願っています．